

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

(平成23年度事業)

事業の概要		事業開始年度		昭和58年度		根拠法令・例規等		健康増進法	
総合計画	大項目	基本目標	02	健康でやさしさあふれるまちづくり		問合せ先	担当課(室)	保健課	
	中項目	基本施策	02	健やかで生き生きしたまちづくり			職・氏名	健康係長・春名美郎	
	小項目	施策	02	成人保健(歯科保健を含む)			電話	64-1820	
事務事業名		02		健康増進事業		このシート作成に要した時間		3.0 時間	

事業の目的		Plan	
対象(誰・何に対して)	主に40歳以上64歳以下の市民		
目的(何のために)	生活習慣病予防や健康づくりに関する事項について、正しい知識の普及啓発や適切な支援を行うことにより、市民の健康増進、健康寿命の延伸、医療費抑制を図る。		
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 健診の受診や健康教育・相談への参加をきっかけに、市民自らが健康意識を高め、自分の健康は自分で守ることができるようになることを目指す。</li> <li>・ 市の健康課題である肥満について重点的に取り組み、適正体重を維持する市民の増加を目指す。</li> </ul>		

事業の実績		Do		
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明		優先度
	健康教育事業	健康づくりの正しい知識や生活習慣改善の実践方法を学ぶ教室を開催		
	健康相談事業	心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な助言や支援を行い、家庭における自主的な健康管理を促す		
	健康診査事業 (肝炎ウイルス検診) (骨粗鬆症検診) (健康診査) (健康手帳の交付)	40歳、41歳以上で今までに検査をしたことがない市民を対象に市内指定医療機関で実施		
		40・45・50・55・60・65・70歳の女性に集団検診で実施		
		生活保護受給者を対象に、生活習慣病を早期発見するための健診を実施		
		40歳以上の市民に交付。検診・相談等の記録や、健康保持に必要な事項を記載して自己管理し、自らの健康管理に役立てる。		

決算額	事業費等		単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
	事業費	千円	4,160	13,231	5,281	
	必要人員	人	1.42人	1.38人	1.29人	
	事業費	千円	9,346	23,044	14,755	
	国	千円	1,247	1,399	2,610	
	県	千円	81	69	53	
	支	千円				
	出	千円				
	金	千円				
	源	千円				
一般	千円	12,178	21,576	12,092		
財	千円					
源	千円					
受	千円					
益	千円					
者	千円					
負	千円					
担	千円					
比	千円					
率	千円	0.6%	0.3%	0.4%		

結果指標	結果指標名	単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
	健康教育・健康相談参加人数	人	3,053	2,817	2,840
	対前年比	%	-	92.3%	100.8%
	活動コスト	円	13,506,000	23,044,000	14,755,000
	単位当たりコスト	円	4,424	8,180	5,195

事業の成果		Check				
成果指標名	年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度目標値	
	目録値(A)	20	20	22.6	20	
	実績値(B)	27.3	23.9	21.1	到達目標値	
達成率(A/B)		73.26%	83.68%	107.11%	20	
成果指標設定の考え方・式や説明						
H19基本健診の結果では男女とも県より肥満率が高く大きな健康課題となっている。(特定健診は県平均が示されていないため比較不可能) 【実績値】特定健診結果 【H24目標値】【到達目標値】健康びぜん21目標値(目標年度H25) 肥満率の減少が指標となっているため、達成率をA/Bに変更						

事務事業の評価		Check	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	必要	妥当性評価
市民ニーズ	コスト	効率性	目的達成度
市民ニーズ	コスト	効率性	市民参画度
市民ニーズ	コスト	効率性	市民参画度

進行年度(H24年度)の改革改善内容	
状況	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
説明	特定保健指導の1つの手段として地区健康相談を実施し、(特定保健指導の)対象者が参加しやすい体制を整えることで、実施率の向上と事業の効率化を図る。市民ニーズに合わせたタイムリーな内容の健康教室を企画、実施し、参加者増を図る。骨粗鬆症検診をレディース検診として乳・子宮がん検診と同時実施し、受診者増を図る。

総合評価		Action	
総合評価	総合評価	B	
総合評価	総合評価	B	

平成25年度の方向性・取組目標		Action	
方向性	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了		
取組目標	平成25年度は健康びぜん21・食育推進計画の目標年度となっている。現計画の評価と次期計画の策定に併せて、これまでの健康増進事業の評価、見直しを行い、より市民の健康づくりや医療費削減につながる事業となるよう検討する。		

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標を評価する